チーム名	YUN YON YAN Project Team

学校名	清陵情報高等学校	学年	２学年（情報電子科）

◆アイデアの内容

⑴ 製品アイデアの名称と製品概要

名　称	腹笑い　～はらで笑って福が来る～

【どのような場面で活躍する製品ですか？】

「笑い」の健康効果については、様々な研究がなされ、よく知られている。それでは、皆さんは１日何回ぐらい笑っていますか？

日常生活において、「笑う」ことを意識し、健康への動機付け (incentive) のための機器として開発した。

【どのような機能がある製品ですか？】

笑った際の腹（腹筋）の動き（連続振動）を３軸加速度センサで検出し、その振幅を小型マイクロコンピュータで処理することで「小笑い」・「中笑い」・「大笑い」の３段階で判定し、回数を計測する。そのデータは、スマートフォンに転送され、計測期間のそれぞれの回数を表示する。

「笑い」を意識し、はら（腹）で笑って幸福になる楽しい機器として製品を開発した。

＜製品の写真・イラスト等＞

（２）解決したい課題や製品アイデアを考えたきっかけ

近年、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、多くの人との楽しい会話やイベントが制限されており、ストレスの原因になっている。そこで、ストレスを管理する効果的な手段の一つとして「よく笑う」という行動に着目した。「笑い」という楽しく、健康と関係性の高い行動を定量的にとらえることで、自分がどれだけ一日を楽しく過ごし、健康になれたかを知ることができる素敵な製品があればと考え、" 腹笑い " の開発を試みた。